

● 診療科の特色

当科は平成11年7月より開設された部門である。

現在は指導医1名、専攻医1名で診療を行っている。

形成外科のほぼ全般にあたる診療を行っているが、現状では約8割が小児の症例となっている。

なかでも乳児血管腫、太田母斑、異所性蒙古斑などの血管腫、あざに対するレーザー治療が診療の中心である。小児であざの面積が広範囲の場合は入院、全身麻酔下での治療も行っている。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 614 件

	手術名	件数
1	外傷	32
2	先天異常	57
3	腫瘍	142
4	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	9
5	難治性潰瘍	4
6	炎症・変性疾患	12
7	美容(手術)	0
8	その他	18
9	レーザー治療	340

● 研究業績

学会発表

1) 眼科領域悪性腫瘍切除後の再建症例28例の検討

末延 耕作

第65回日本形成外科学会総会・学術集会

2022年4月20日～22日

2) 岡山医療センター形成外科における眼科合同手術について

末延 耕作

第10回川崎医科大学形成外科学教室同門会学術集会

2022年5月21日

講演

1) 山内逸郎賞受賞記念講演

メスは3割

末延 耕作

2022年6月5日